

沼津市新中間処理施設 建設工事の概要

●契約の方法

総合評価一般競争入札

●契約の金額

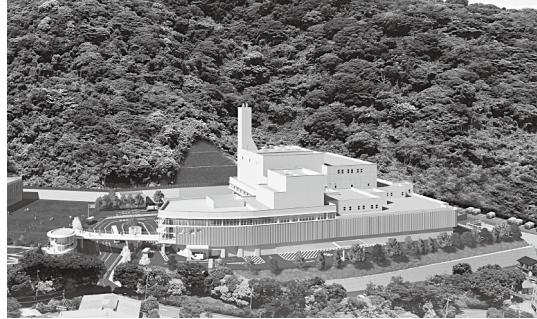
311 億 5,200 万円

●契約の相手方

タクマ・前田・東畑・大藤・加藤・
佐藤建設工事共同企業体

「総合評価一般競争入札」とは？

入札価格に加え、機能、性能等の提案を総合的に評価し、発注者にとって最も有利なものを落札者として決定する入札方式です。



▲東側から見た完成予想図
※今後変更となる可能性があります。

民生病院教育委員会での主な質疑

- 問** 総合評価一般競争入札において、落札者のどのような提案内容を評価したか。
答 学識経験者などで構成する事業者選定委員会にて、資源物などの選別純度や回収率を向上・維持するための取組、リチウムイオン電池などの異物除去の徹底に向けたハード・ソフト両面での工夫のほか、メンテナンス動線や作業スペースに配慮したレイアウトの提案を特に評価した。

■施設整備の基本方針

1. 地球に優しい施設	4. 維持管理が容易で経済性に優れた施設
2. 安定・安全性に優れた施設	5. 市民に開かれた施設
3. 資源や熱エネルギー等を効率良く活用できる施設	6. 周辺環境と調和した施設

■新中間処理施設の概要

●焼却施設

- ・施設規模 210t/日
- ・処理方式 ストーカ方式

燃やすごみ、
焼却粗大ごみ（タンス、棚など）

●リサイクル施設 ※焼却施設と一体整備

- ・施設規模 23t/日

ビン、缶、ペットボトル、
せともの・ガラス類、危険ごみ、
硬質プラスチックごみ、金属類など

■事業方式・スケジュール

●DBO方式（公設民営）を採用しました！

民間事業者の創意工夫を取り入れ、経済性や効率性の向上が期待されます。

●スケジュール

R7年度 実施設計業務	R8年度 建設工事着手	R11年度中 竣工・稼働開始
----------------	----------------	-------------------



▲南側から見た完成予想図
※今後変更となる可能性があります。

新中間処理施設の建設工事に係る契約議案を可決
令和11年度中の稼働開始に向けて整備を進めます！

